

公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団

2016年度（前期）指定公募
「地域包括ケアを目的とした在宅医療推進のための多職種研修会への助成」
完了報告書

「 学ぼう！地域包括ケアシステム 」

申請書：文 隆雄

所属 機関：清水町・長泉町在宅医療支援ネット

提出年月日：平成29年 4月11日

【第1回講演会】 講演会テーマ【学ぼう！地域包括ケアシステム】

【 参加人員及び職種 】

	清 水 町		長 泉 町	
医 師	3	名	5	名
歯科医師	3	名	2	名
薬 剤 師	5	名	12	名
看 護 師	10	名	14	名
理学療法士・作業療法士	0	名	1	名
歯科衛生士	0	名	3	名
介護支援専門員	7	名	10	名
介護福祉士及びヘルパー	9	名	5	名
事務職	0	名	4	名
行政職員	2	名	4	名
合 計	39	名	60	名

【 添付資料 】

- ① 講演会チラシ
- ② 講演会風景（写真）
- ③ 講演会当日のプログラム
- ④ 講演会当日配布冊子
- ⑤ 講演会終了後のアンケート結果

【 開催感想 】

清水町・長泉町在宅医療ネットが設立されて、清水町22施設、長泉町33施設が本会の会員に参加され、下記に事業別参加施設を記載します。

	医 院	歯科医院	薬 局	訪問看護	介護施設
清 水 町	6 施設	1 施設	2 施設	2 施設	11 施設
長 泉 町	7 施設	3 施設	9 施設	5 施設	9 施設

今回の講演会が、本会の最初の講演会となり、また、近隣を統括する県保健所長の講演となり、上記参加会員の約8割の45施設が参加して頂けた。清水町・長泉町で医療機関と介護施設が共に講演会を開催し、情報を共有できたことは、有意義であったと思われる。また、今回の講演のテーマである“地域包括ケアシステム”についても、参加会員がもっとも情報を得たかったテーマであり、添付資料のアンケート結果において、参加者された方々のうち63名から回答を得たが、53名の方々から“地域包括ケアシステム”について約50%以上の理解できたと回答を得ることができた。

【第2回講演会】 講演会テーマ【第2回学ぼう！地域包括ケアシステム】

【 参加人員及び職種 】

	清 水 町	長 泉 町
医 師	1 名	5 名
歯科医師	1 名	1 名
薬 剤 師	3 名	5 名
看 護 師	7 名	8 名
理学療法士・作業療法士	0 名	1 名
介護支援専門員	2 名	4 名
介護福祉士及びヘルパー	5 名	2 名
行政職員	2 名	2 名
合 計	21 名	26 名

【 添付資料 】

- ⑥ 講演会チラシ
- ⑦ 講演会風景（写真）
- ⑧ 講演会当日のプログラム
- ⑨ 講演会当日配布冊子

【 開催感想 】

第2回講演会は、清水町・長泉町の両町が平成30年度に向けて“地域包括ケアシステム”の進捗状況の説明と、本会の会長がスウェーデンの地域包括ケアシステムの現地視察をされた時の報告をして頂いた。今回の講演会は、両町の進捗状況の報告もあり、多くの会員が参加して頂けると考え土曜日の午後で設定したが、参加人員が少なく、後に意見等の集約にて、午後2時開催になると、勤務時間の都合もあり参加できなかったとの意見が多く、今後は第1回講演会の時のように夜間時間帯に開催することにした。また、第1回・第2回ともに参加できなかった事業者に対しては、資料を配布した。今回の講演会には、県職員を参加して頂き、両町の平成29年度、30年度に向けての“地域包括ケアシステム”について、事業内容、事業運用等が聞け、参加事業所が、今後の事業運用を行なうに当たって問題点等洗い出すことに大変参考になったと考える。また、会長の講演をうけ、利用者に対して入院時から退院に向け、地域で事業を運営している医療機関、介護機関が連携を持って関わる事で、入院期間の短縮、地域でのその人にあった療養生活を長期間過せる体制が、退院時から構築できるとの説明もあり、今後地域の医師、看護師、介護支援専門員、各介護機関が、連携を今以上に強く意識し、利用者が在宅で看取りまで有意義な生活を送れる体制作りの指標になった。今回の2回の講演会は、清水町・長泉町の医療機関・介護機関との連携の第1歩になった。この2回の講演会以外に、症例検討会を2回開

催しており、本年度に入りこの4月26日にも症例検討会を開催します。今回は普段地域の医師との連携を図るうえで悩んでいる事等を、症例をどうして検討する事になっており地域の医療機関の先生方から、対処方法等ご意見をいただける事になっております。この2回の講演会がこの地域での医療機関・介護機関の連携を促進する良い機会となり、「公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団の助成により」講演会を開催す事ができ、大変感謝いたしております。